



# Counseling News



みなさん、こんにちは！

今回は**救急のかかり方**についてお届けします。



## 救急のかかり方！


～3つのポイント～

### 1. 診てもらおう！

お子さんの様子が心配になったら、専門医の先生に電話で聞こうとせずに、**診てもらいましょう！**電話はお子さんの重要な情報（顔色、ぐったり感など）が伝わりません。また、総合診療部の先生など、一般の小児科の先生にも診ていただくことでダブルチェックが可能になります。

### 2. 要点を伝えよう

お子さんの診察は**要点**を伝えましょう。お母さんが心配し過ぎて、冗長な話をしてしまうと、先生も何が重要な変化かわかりにくくなってしまいます。診察の待ち時間は、先生に伝えるべきことを手短かにまとめる時間です。

- 
- ① お子さんの年齢
  - ② 診てもらいたい症状（いつから・どこで・誰が・どんなふうに？）
  - ③ かつての診断名と現在飲んでいるお薬

### 3. またお世話になるために

またいつかかるかもしれない救急や外来ですから、診察の後には**お礼の気持ち**を伝えましょう。次回もお子さんとお母さんが気持ちよく診察を受けられるように、「次の種」を撒いておくのです。みんなでお子さんを見守っていきましょう😊



## ★準備不足で泣かないための入院持ち物最強マニュアル★

突然の入院ではあわてふためいてしまいますね。困らないために  
入院セットを作っておき、わかりやすい場所に置いておきましょう！

### ☆まずは・・・

- 診察券
- 保険証（入院のときは、診察とは別に見せる場合もあります）
- 医療券（乳幼児医療証など）
- お金、小銭（入院保証金は遅くなくてもいい病院もありますが、中には5万円くらいかかる  
ところも…）
- テレカ（携帯電話は病院では使用制限がありますね）
- 携帯電話の充電器（携帯電話の使用&充電の可否は病院によって異なりますが、念のため）
- 筆記用具、印鑑（さまざまな書類に必要です。えんぴつ、ボールペンのほか油性マジックは、  
身の周りのものに名前を書くのに必携！）
- マスク、除菌シート（感染予防のために）



### ☆子どものものは・・・

- 数日分の着替え、下着、靴下
- オムツ一日分以上（一日10枚だったら10枚くらい）&お尻拭き
- 紙オムツ（重さを量って便や尿の計量をするかもしれないので、一種類が便利）
- ティッシュ、ウェットティッシュ、歯ブラシ、つめきり（あると便利）
- S字フック（ベッドの淵にひっかけ、そこに袋やカゴなど掛けられます）
- お気に入りのおもちゃ（数個）や絵本（数冊）、年齢によっては勉強道具



### ☆パパかママが付き添うならば・・・

- 下着（体温調節の為に、肌着が便利）
- バスタオル、フェイスタオル（なにかと使います）
- パパ・ママ用 洗面具（歯ブラシ、歯磨き、石鹸。もし付き添って泊るなら）
- 手提げ袋、紙袋、ビニール袋など（貴重品を入れたり、持って帰るときに重宝します）
- スリッパ、つっかけ、サンダル（靴のままでは疲れますね）
- 日持ちのするお菓子（忙しくて食事をとれないときのために）
- 洗濯用の洗剤
- サランラップ（食欲がなくても、ラップで小さなおにぎりを作ると食べられる子もいます）

